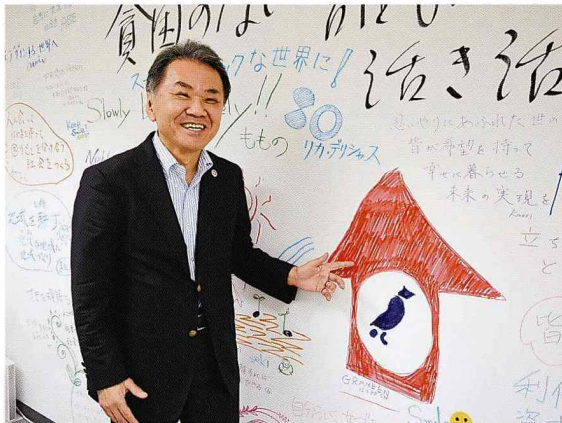


ひと

2018

## グラミン銀行日本版を設立した

かんまさひろ  
菅 正広さん



貧困と闘うバングラデシュの例を参考に、貧しい人に無担保で少額を融資する日本版「グラミン銀行」を9月、東京都内に設立。運営組織「グラミン日本」の理事長を務める。「日本は貧困者を国が支える『公助』が不十分。民が助け合う『共助』を充実させたい」と熱く語る。

インターネットで協力を呼び掛け、活動原資1千万円を集めた。生活に困窮する借り手は、まず5人のグループを作り、最初は2人に最高20万円を融資。残り3人への融資は、この2人の返済状況を見て判断する。グラミンはバングラデシュの公用語で「村」の意味。「日本でも多くの地域で人に寄り添う福祉活動に発展させたい」と話す。

福島県生まれ。東大経済学部卒業後、大蔵省（現財務省）に入り、予算編成などの業務に携わった。だが、15年ほど前、実家の酒店を継いだ叔父が大型店との競争で廃業、債務を抱え貧困に陥る様子を間近で見て、国の政策の限界を痛感した。

そんな時、グラミン銀行創設者でノーベル平和賞受賞者のムハマド・ユヌス氏の講演を都内で聴き、心が揺さぶられた。07年から約2年間務めた北大公共政策大学院教授の時にグラミン銀行を紹介する書籍を出版。ユヌス氏の札幌講演に向けて奔走し、09年に実現させた。

現在は明治学院大教授として国際開発論などを教える。「設立前は不安で眠れず、今はわくわくして不眠状態」。都内在住の61歳。

（長谷川 紳二）